からほり新聞

第23号
〈2012.03.23〉

のどかな時の流れを想う!!

街の記憶

私が物心ついたころ（昭和20年代後半）、町はまだゆっくりと時を刻んでいたように思う。私の家は空堀商店街を北へ入ったところの50件筋と呼ばれたところにあった。

幼いころ、桃園幼稚園へ1年間通った。（今もつづいている幼稚園）送り迎えも必要のない時代で、友達と寄り道をしながら通園したものである。狭いけれど庭はとても美しかった。手入れがとても行き届いていて、小山には沢山の小鳥が飼育されていた。そこからの眺めはとても良くかくれんぼの格好の隠れ場所であった。お昼になると建物の一角の給食室からおいしそうなにおいがただよってきてわくわくしてお昼の時間が待ちどうしいものであった。お弁当の日も中にはあったとおもう。帰り道、いくらのどかな時代と言っても大通リ（昔の谷町筋）を横切るのは子供心にとても緊張していたのをおもいだす。1度だけ自転車にぶつかって、その相手の人におんぶされて家まで帰ったのが昨日のことのようである。そんな穏やかさは今ではまれなことになってしまったかもしれない。

また、我が家の向かいには路地が沢山あった。放課後子供たちはそこに集まって母が呼びに来るまで、周りが夕闇に包まれるのも構わず夢中に遊んでいた。石蹴り、縄跳び、ドッジボール、ゴムとび、どれも飽きることはなかった。子供の声がしなくなった頃、家々には電球の温かい明りがともるのである。

こんな思い出が、時折頭によみがえりどんな辛い時も元気になれたりした。土曜日などの日課は決まったように筋向いの路地奥のお宅におじゃましていた。そこのお宅には女の子3人、男の子1人の御姉弟で兄弟の少ない私には羨ましい限りの賑やかなお家であった。食事も御馳走になり、お風呂も入れてもらい泊らせていただいた日もあった。迷惑な顔一つされずにいつも迎えていただいたことは、今でもはっきりおぼえていてこれからも忘れる事がないと思う。

時折、母や祖母に連れられて空堀商店街に行くこともあった。魚の名前、野菜の名前、いろんな名称を自然に憶えることができた。そのことが何に役立つということではないが、食卓での味も、数倍になっていたように感じている。

この街は戦前も戦後も沢山の子供たちを育んできた。元気な子、さみしがりや、優しい子、さまざまな個性がここでは大切にされてきた。これから何年も先までも、家族とともに暮らしてきた私たちのことを、街は記憶にとどめていてくれるだろうか。（楓ギャラリー　三島尚子）

「空堀界隈をご散策される皆様へ」

◆路地の奥は私有地が多いのでご注意ください。
◆美しい石畳や木造家屋にゴミは似合いません。
◆商店街は生活の場でもあります。節度とマナーで笑顔が増えます。

「からほりさろん」News

お年寄りの皆さんに、住み慣れた町で楽しく充実した暮らしが続けられることを願って、支援活動や暮らしの潤いに様々な企画を推進しています。

■3月27日（火）28日（水）バザーします。
▶品物も集めています。ご連絡下さい。

■春のコンサート　パート28　マリンバ演奏
▶5月5日（土）ドーンセンター　参加無料　1時30分～

■懐かしい映像で歌いませんか?
▶毎月第2火曜日　1時30分～

■マイケアプラン学習会のお誘い
▶イザという時慌てないように学びませんか
▶第3火曜日　2時

■童謡・唱歌を歌う会
▶毎月第1、3水曜日　1時30分～
▶お誘い　楽しく童心に返り仲間と声を張り上げています。心も若返ります!

■子供寄席
▶4月3日（火）高津神社「富亭」　2時～
▶無料▶定員60名▶先着順

当会は寄付が主な活動資金です。

この度イオングループのKOHYO空堀店様のご支援を頂くことになりました。毎月11日黄色のレシートを備え付けのボックスに入れて頂くと売り上げの1％が高齢者外出介助の会に還元されます。

皆様ご協力お願い致します。

■かみなり亭寄席
▶5月12日（土）▶薬業年金会館3階▶出演笑福亭仁鶴他▶前売り1800円、当日2000円

■絵本読み聞かせの会　田中やすこおはなしの会
▶手話もあります▶6月土曜日▶隆祥館6階多目的ホール▶問い合わせてください（隆祥館06-6768-1023）

■楓ギャラリー
▶http://www.ef22.com/kaedetop.html

買い物は空堀商店街で

☆編集後記

◆寒い冬でしたが散歩がてら取材しました。近くに住んでいても、空堀散策は色々発見があり楽しいですね。（岡田）

◇春です。孫の受験で15歳の私の気持ちがよみがえりました。若かった!（永井）

◆空堀界隈で行きたいお店、新しいお店がたくさんあって困ってます…。でも今の時期だと、花粉症に効く料理を出してくれるお店なら迷わずいっちゃいそうです。そんなお店はないですか?（のぶ）

◇春の雪が舞い散る3月。津波の悲しい映像が目に焼きつく。その中に青年が91歳のおばあさんをこの手を離せば後で後悔すると瞬時の判断で必死に守った命を大切に（矢子）

◆奇しくも3・11にJR杉本町駅の東口と東西エレベーターの運用が始まった。4年越しの運動で感無量。（山名）

「からほり新聞」は高齢者外出介助の会に集う有志が、愛する「からほり」の賑わいを願って作っている無料のコミュニティ紙です。ご意見・ご感想・投稿・イベント情報などお待ちしております。また、「新聞置いてあげてもいいよ」とおっしゃってくださるお店も大募集。

「からほり新聞に参加したいなー」と思われる方、大歓迎です。気軽にご連絡ください。**（現在55カ所設置）**

特定非営利活動法人

高齢者外出介助の会とは?

お年寄りの皆さんに、より楽しく充実した日常生活を過ごしていただくため次のような活動をしています。

①**外出介助**（買い物、お墓参り、通院など）
②**暮らしサポーター**（買い物、薬取り、入院時支援など）
③**車椅子貸し出し**（お気軽にご利用下さい）
④**生きがい作り講座**（童謡・唱歌を歌う会、布ぞうりなど）
⑤**大阪の文学を読む会**（学び）
⑥**「からほり新聞」制作**

お気軽にお問い合わせください。

大阪市中央区松屋町4-8　メイツ松屋町1階
（おとうふ屋さんのおとなり）
TEL&FAX 06-6764-4002
月～金（10:30～15:00）
E-mail: odekake@helen.ocn.ne.jp
ホームページ: www9.ocn.ne.jp/~ode-kake/

マリンバを楽しみませんか?

毎週木曜日「からほりさろん」で教室をしています。
見学・体験（1回）大歓迎!!
くわしくは高齢者外出介助の会でお問い合せください。
指導：北口　桂

喰べ処　呑み処　おそうざいの店
島やん
谷町6丁目12-8　TEL 6762-9288
営業時間：PM5:00～11:00（定休日：月曜日）

〔発行〕「からほり新聞」制作チーム「特定非営利活動法人　高齢者外出介助の会」内　TEL&FAX 06-6764-4002

日本の近代化に貢献した
大村益次郎卿の碑に思う
（前編）

大阪市中央区法円坂の上町交差点には、兵部大輔大村益次郎卿殉難報国乃碑、と書かれた、見上げる程背の高い、立派な石碑が建っている。その右袖には、椅子に座り本を読んでいる、太い眉毛の大村氏の姿が浮き彫りで刻まれており、左袖には碑文が刻まれた石が対称的に置かれている、それらの外側にも更に石積みがあると言う規模の大きな碑である。大阪医療センター（元国立病院）の東南角がその一角である。

因みに大村氏の碑や像は日本に七ヶ所もあり、大阪市には三ヵ所、ここ中央区と北区、西区にある。東京の靖国神社の立像は日本初の西洋式銅像だ。後の三ヶ所は生誕の地、受難の地、宇和島の住居跡にある。

大村益次郎とは、どんな功績のあった人物なのか、又何故この場所にあるのかについてはあまり知らない、と言う人が私を含めて多い様に思うので、近所に住んでいながら、これではいけないと氏の記録を読んでみる事にした。

短い紹介では、「大村益次郎は明治維新に活躍した十傑の一人である。幕末の長州藩士で、医師、西洋学者、兵学者であり長州征討、戊辰戦争では、長州藩士や官軍を指揮して勝利をもたらした立役者であった。兵部省の初代の大輔（次官）で、事実上の日本陸軍の創始者である。」と記されている。もう少し、詳しく調べていくと、1824年　山口県山口市、村医の長男として生まれ、名前は村田蔵六。十九歳から県内の塾で学問に励んだ後、二十二歳から大阪に出て、緒方洪庵の適塾に入塾、医学や洋学を学び塾頭も務めた。伝えるところによると、彼は精魂を尽くして学び、時には夜を徹して書を読み、暇さえあれば解剖の本を読んでいた。塾頭としても綿密に考えて講義をし、遊びもしない質素で品行方正な人物であった。

二十六歳で、父に請われて郷里に帰り村医となったが、二十九歳の時、折しもアメリカの黒船が来航して、蘭学者の知識が求められる時代となり、宇和島藩主に招かれて藩士として西洋兵学や蘭学の講義、翻訳を手掛け、砲台も造る。

三十二歳、江戸に出て塾を開き、蘭学、兵学、医学を教え、外交文書や洋書の翻訳も。

三十六歳、再び長州藩士に戻り、外国人との紛争交渉など精力的に活躍、兵学校の教授となって、オランダの西洋兵術書を翻訳した本やテキストを刊行。

三十九歳、日米修好通商条約が結ばれてから、幕府の弱腰外交が天皇への期待となって尊王攘夷派（天皇を尊び外国を打ち払う）と公武合体派（朝廷と幕府の合体）とのせめぎあいとなり、天皇が合体派についた為、尊攘派の長州は朝廷から放逐された。山口に帰る。

四十一歳、桂小五郎（木戸孝允）の推挙で百石取りの上士となり大村益次郎永敏と改名。高杉晋作が、藩論を倒幕にまとめ、幕府と敵対することになった。

四十二歳、第二次長州征討の幕府軍が攻めこむ。巧妙な兵法と武器とで、三倍の兵力の幕府軍を破っている。この事で幕府への信頼は急速に低下し、桂、大村、高杉、伊藤博文、井上馨らによる日本の近代化は、一歩進んだ。

ケラ子の介助日記
ご協力お願い

高齢者外出介助の会
事務局長　永井佳子

高齢者外出介助の会の活動を始めて18年。10年前にNPO法人の認証を受けました。同じ頃に空堀商店街に事務所を移転しました。

十年が過ぎ、商店街の皆様の暖かい声援も笑顔で実感しています。

「これをバザーに使ってください」。「車椅子を貸してください」や「エレベーター点検中でマンションの自宅に帰れないので休ませて」また、心配事や不安の相談に見えることもあり、多くの方が〝からほりさろん〟を気にかけ頼りにもしてくださっていると嬉しくなります。しかし、いまだに経済的には脆弱な会です。

こんな中で、空堀でサロンを開き続け、親しくなった皆さんが最後まで元気に暮らし続けられる支援がしたいのです。

「熱を出して一人で寝ていた」連絡をくれたらと言いたくなりますが、誰にも迷惑を掛けず暮らしたいのが本音のようです。

そんな時、回復するまで安心して休める場を提供できたら…。と色んな計画は浮かびますが、まず経済を安定させたいのです。

寄付に税金の控除が受けられる「認定NPO法人」を取得しようと準備を始めました。

小規模NPOというので3000円の寄付を一会計年度50人、2年が、実績の条件です。どうかご協力お願い申しあげます。

車椅子から眺めてみれば
街のおじさんから⑯

高齢や障害で車いす生活になることは誰にでも起こるかも…。でも車いすからは世の中がよく見えてくる。そんなおじさんの考えたことを連載で。

大阪府教育基本条例案がこの新聞が届く頃には成立しているでしょう。

維新の会の人たちは、大阪の学力テストの成績を問題視し「学力向上」が第一と考え、学校間の競争や、教員の学力本意の指導力向上を諮ろうとこの条例を作りました。

もちろん学力を上げることは教育の重要な目標であり、反対するのはおかしいはずですが、教育専門家や先生たちがこぞって反対しています。

特に障害のある子どもの親は、この条例によって競争力の弱い子供が学校から排除されないかと、とても心配しています。

大阪では全国に先駆けて、障害を持つ子が地域の普通学校へ行けるよう力を注いできました。障害の子供だけを別けて教育する特別支援学校に入学させると、近所の子供と友達になれず、地域の人も障害児との接し方が分らなくなります。

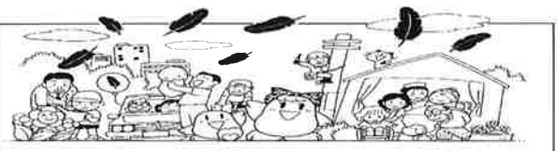
大人になれば地域で皆と一緒に暮らしていかなければなりません。災害時には助けが必要です。子供の時から一緒に学び、遊んで、絆を作っておく必要があるのです。

学力第一、競争本位の学校では弱い子切り捨てになる恐れがあり、どんな子供でも受け入れ、能力を伸ばすための配慮が必要です。（山名　勝）

高齢者外出介助の会

外出介助ボランティア募集

楽しい出会いで「知る」「学ぶ」「体験」が出来ます。
希望の方は当会 06-6764-4002 まずお電話下さい。



地域の福祉、みんなで参加

●地域の福祉の充実に、みなさまのご支援をよろしくお願い致します。共同募金は、10月1日～12月31日の期間ですが、年間を通じて寄付金を受付しています。●大阪府共同募金会事務局は、谷町7丁目交差点を信号1ツ西入ルの大阪社会福祉指導センターの2階にあります。どうぞよろしく。●ホームページをぜひご覧下さい。http://www.akaihane-osaka.or.jp

快傑!からほり人　快傑ファイル其の十九

利用者主体の自律した生活を実現する、具体的な支援をします

たむらソーシャルネット代表　**田村満子** さん

大阪市中央区で1999年に創業した「たむらソーシャルネット」は、2003年に空堀商店街の一角に事務所を構えてから、この地で出会った「ご縁」を大切にしてきました。有限会社代表としての役割だけでなく、社団法人日本社会福祉士会副会長・大阪市成年後見支援センター専門相談員・虐待対応ソーシャルワークモデル研究委員会委員などの公務も精力的にこなす田村満子さん。そのパワーのヒミツに迫ります。

「何故、NPOではなく有限会社にしたのですか」この質問をよくされる田村さんは、介護保険制度が導入され、成年後見制度の見直しや自立支援法などの福祉環境が大きく変化する中で、「優先順位はご本人とともにある」を信念として、丁寧で柔軟性のある活動を続けて来ました。

スタッフは全員女性で、田村さんと一緒に頑張りたいと駆けつけてきてくれた仲間と、「納得できる仕事をしたい」という思いをカタチにしてきました。ケアマネジャーやヘルパーなどのスタッフはすべて有資格の職員で、「ご利用者が地域で暮らし抜く」お手伝いをすること、そして、成果が出れば手を離すことをプロとしてめざしています。

訪問介護事業や居宅介護支援の他、実習生の受け入れや困っている人に対する相談事業、より良いサービスを提供するための勉強会などを実施しています。また、行政や職能団体が主催する講座に講師として出かけることも多い田村さんは、どんなテーマでも「3回は笑いをとる」ことを心がけているとか。岸和田出身の大阪人らしく、「声を出して笑っていただくとうれしい」とも。講師依頼や福祉・介護の相談は有限会社たむらソーシャルネット迄。

大阪市中央区谷町6-14-23
TEL 06-6766-7071
http://tamura-socialnet.co.jp

「福祉の世界に入ったきっかけは何ですか」と聞かれることも多いそうですが、ご本人曰く、「5~6歳の頃にガールスカウトに入団して、高齢者施設や乳児院に行く機会があったこと。高校生時代の夏休みに養護施設などに通い、そこで過ごしていたことが関係あるのかも」と。

その後、堺市にある特別養護老人ホームに勤務されていましたが、田村さんの福祉に対する思い、認知症の方に対する思いとその情熱はどこから生まれるのか。その答えは、「最善の支援を提供するために、何をすべきか」と常に自らに問い続け、制度の枠にこだわらず実践してきた過程に見ることができるだろう。

この4月、介護保険法の改正がありますが、一人ひとりの利用者と「繋がっている実感」を大切にされている田村さんは、「どんな宿題にも真摯に向き合い、新たな挑戦をしていきたい」と、13年目の抱負を語ってくださいました。

（三井康栄）

資格を持つ看護士さんが常駐。

福祉用具の常設展示と相談

見て、触れて、体験しよう!「大阪府介護情報・研修センター」

谷町7丁目、大阪府社会福祉会館1階奥に福祉用具の実物を見て相談もできる、常設の展示センターが設置されている。

府は23年度からこのような施設を外部委託事業に切り替え、公募により関西シルバー協会とファイン財団の共同企業体が運営することになった。

なお、府の同様な施設は整理されここだけになっている。

福祉用具はおよそ300点以上、展示用品はベッド・車いす・リフト・浴室や排泄関連など大型のものから、靴や杖・衣類・食事ケア・自助具など生活に関するものまで、必要な分野は一通り揃えられ、協賛企業から新しい製品が展示される。

見るだけでなく「見て・触れて・体験しよう」と、入浴やスロープなど実地体験もでき、試用できる用具もある。

また用具だけでなく、住宅改修相談も、専門家が隔週に来て行っている。

相談には福祉用具プランナーなど専門的な資格を持つ看護士さんがあたり、用具の使い方だけでなく、医療的なことや行政的なことまで、幅広い相談に応じることができる。

会館での研修事業も充実され、今年度のプログラムは4コース17科目設けられている。専門職や行政職員のための講座であるが、一般の受講も歓迎とか。

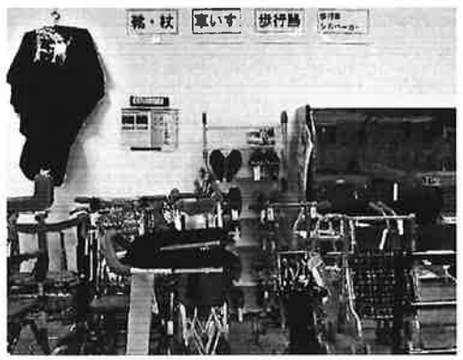
講師は協会所属会員事業所や外部協力機関の専門家が主で、実習もある実践的な講座となっている。(23年度実施科目。基本から学ぶ福祉用具・ベッド床ずれ防止、コミュニケーション自助具、入浴補助具と排泄用具、歩行用具と車いす関連など/テーマ別研修・腰痛予防持ち上げない介助、認知ケアなど/市町村職員や支援センター職員研修)

同様な施設は南港にある大阪市のATCエイジレスセンターがあり、連携して運営されている。

福祉用具展示場・相談「大阪府介護情報・研修センター」
谷町7丁目4-15
大阪府社会福祉会館1階
TEL・FAX06・6763・1480/祭日は休み

◉介護や福祉用具の相談
月~金曜日10:00~17:00
(来所または電話)

◉住宅改修に関する専門相談
毎月第1・3火曜日
13:00~17:00(来所)



からほい界隈お散歩MAP

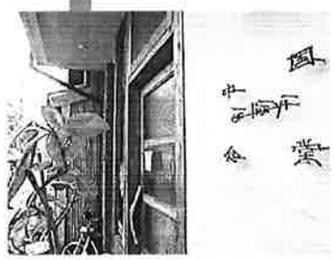
～其の２０
空堀食べ処　土、日曜日編～

土、日に営業している空堀の飲食店紹介の第２弾です。
探せば探すほど、新しい店、たのしい空間を発見できる空堀界隈。
民家の一部を改築して創られたカフェ、こだわりの素材とお酒を置くレストランなど、どこのお店も、個性的だけれど、温かく優しいお店でした。
ここに掲載されている以外にも、お店はまだまだありそうです。
ぜひ、散策してみてくださいね。

「お散歩MAP其の19」のお詫びと訂正
前回のお散歩MAP掲載内容について、誤りがありご迷惑をお掛け致しました。下記のように訂正させて頂きます。
⑳たこきり　たこ焼き→⑳たこりき　たこ焼き
㉑肉匠みやざき　韓国創作料理→㉑肉匠みやざき　お鍋屋

凡例

★フランス料理	■アジア料理
▲カレー	◆お好み焼き
□レストラン	☆喫茶・カフェ
△居酒屋・バー	○和食



■中国食堂　日曜定休
06-6762-0261
知る人ぞ知る隠れ家
※ディナーは要予約

▲呂（ルー）
スパイスを使ったサラリとしたカレーが評判

□リップルカフェ
06-6761-5025
安くて美味しい生パスタを家庭的な雰囲気で♪

□アニーズバーガー
06-6768-3307
ボリュームたっぷりの本格アメリカンバーガー

□オムレット
06-6761-0672
地下室もあるおしゃれなビストロカフェ

☆らんぶーる
06-6761-9224
焼きたてパンと香り高いコーヒー

△ＫＯＨＡＫＵ
06-4304-0788
こだわりの串焼きとお酒が楽しめる大人の店